

勝林寺寺報

「学ぶ」ということ

「わたし」という存在のはかなさを、むかし人は「流れに浮かぶうたかた(泡の粒)」に譬えました。浮かんで姿をみせたかとおもえば瞬時に消えてなくなってしまう。ものみな、まことはかなく頼りないものだというのです。

こういうものの見方を「無常観」と呼んできました。

「色は匂えど散りぬるを わが世たれぞ常ならむ」

わたしたちはこの歌のことばの意味さえわからぬままに、なにかにつけてこううたって参りました。いろいろの「色法」、いろいろ形をもつすべての存在を指します。「有為法」とも言います。全ての存在(法)はつねに瞬時刻々移ろいゆくもの。それは何故か。すべてのものは「縁起」なのだからです。これがこの世の真理(法)。

縁起を見るものは法をみる 法をみるものは縁起をみる。

また、「縁起」は「重重無尽」。

全てのものは、互いに関係し、影響しあい働きかけあいながら存在する。あたかも網の目のように…。

たとえばこのわたしの生命。

父母、祖父母、曾祖父母…という直系のみのならず傍系、そのまた傍系と。このひとつの「わたし」をあらしめるための影響力を考えるなら、世界のうちみな兄弟姉弟。「遠く通ずるに四海のうちみな御同朋御同行」。

これはまた、人間だけの問題ではなく、山川草木悉皆成仏。すべてのものの影響力を学び受け止め重視するなかで「わたしの」いのちを生きよとの教えが釈迦のおしえ「仏教」です。

反対に、「これはわたしが編み出した考え」「わたしの独自の見解」「わたし独創の思想」「わたしのものの見方」。

しかし、これらは甚だ危険です。

よしのズイから天のぞく。我が身勝手な、狭い、自己中心的な利己的見解です。これを「煩惱」と呼びます。さらにもっとも根源的な煩惱のすがた(根本無明)を「無明と渴愛」とに分けて考えてきました。「世の真実のすがたに盲目で、じぶん勝手な自己の欲望だけに執着する」。これが迷妄煩惱の根源と教えています。

紀元前後に成立した「大乘仏教」の経典『華嚴經(ケンギョウ)』には、この縁起の世における菩薩(修行者)の修行のありかたとして(入法界品)に「善財童子(ぜんさいどうじ)」の例があげられています。善財童子は悟りを求めて南インドに旅して、五十三人もの善知識(善い先生)をたずねて教えを乞い、最後、普賢菩薩に教えをうけてようやく究極のさとりに至った経緯が語られています。五十三人のなかにはインドの古い神々は言うに及ばず、バラモン教の修行者、女性の修行者(ニギ)、国王・商人・牧童・船頭・盗賊・香商など、あらゆる階層の人から謙虚におしえを聞いています。

「わたし」が生きるには、こうあらねばならない典型が語られているように想います。

蛇足ですが、江戸時代に、東海道五十三次の駅(宿場)をつくったのは、これに学んだとも言われています。

(前住職)



勝林寺 ネット!



ようこそ和奏(わかを)くん

四月六日、榎見の湯口章太様慶子様ご夫妻の第一子、和奏くんが両親と祖父母の博文様妙子様ご夫妻と共に初参式にお参りに来てくれました。少し肌寒い日でしたが、お母さんの実家のご両親がしつらえてくださった立派な着物にくるまれていたせいかすやすや、本堂での仏さまのご対面にも臆することなくすやすや・なんと心温まる時間が、本堂に流れました。

和奏くん、生まれてきてくれてありがとうございます!

ドームに響く歓声と悲鳴

四月一二日に行われた観桜会第一部、勝林寺住職杯グランドゴルフ大会は、二十六名の腕に自信のある者ない者が集結し、賑やかに開催されました。二ゲームの合計で争われたこの大会では、ホールインワンが七つも飛び出し、商品が足りなくなつたかと思うと、あちこちでOB連発に悲鳴が上がるなど、大盛り上がり二時間でした。成績優秀者は、次の通りです。

- 優勝 田中純子さん(上小田)
- 準優勝 永井孝一郎さん(矢根)
- 第三位 大石正代さん(出合市場)
- ◎坊守は一五位、住職は二二位でした。(笑)

鬼瓦が完成

昨年八月、長年の雨風に堪えてきたせいでしよう。突然本堂の鬼瓦の一部が、破損落下いたしました。人的被害がなかったのが、幸いでした。総代様、代議員様の迅速なお骨折りにより、この度改修が終了いたしました。約一〇日間かけて、古いものを解体し、新しいものを設置していただきました。下から見上げると、かすかにその輝きがわかります。新しい鬼瓦は、従来の何十倍もの強さとなっているそうです。

納骨研修旅行参加者募集中!

気楽ないい旅ですよ。

ぜひ、ご一緒しましょう。

住職・坊守 役員一同

五月 勝林寺 予定

一日(木)	出石・但東仏教会
三日(土)	宮島裕之宅 七回忌
五日(月)	花まつり(釈尊降誕会)
六日(火)	十六日(金)
九日(金)	出石・但東仏教会 役員会
一〇日(土)	中嶋敏博宅 忌明法要
一八日(日)	親鸞聖人 降誕会
二二日(水)	南三陸町議会
二三日(金)	出石組三役総代会三役合同会議
二五日(日)	宮島宅 五〇回忌
二六日(月)	二七日(火)
三一日(土)	本覚寺 永代経

念仏奉仕団

(敬称略)

